

郡山市の教育・生涯学習を取り巻く状況・課題整理マトリクス

令和 6（2024）年 8 月 8 日（木）現在

社会の動向	国・県の動向	郡山市の動向 （第 3 期郡山市教育振興基本計画）		事業評価 （現行計画の事業評価）	●郡山市の教育に関するアンケート	●ウェビナー	重点となる 課題(案)
○将来の予測が困難な VUCA（変動制、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代 ○人口減少、少子化、高齢化、長寿化の進行 ○ICT・グローバル化の進展 ○精神的豊かさの重視（ウェルビーイング：WB） ○就労環境の多様化（非正規雇用、共働きの増加） ○地球規模の災害・環境問題・紛争の増加 ○SDGs：2030 年に向けた持続可能な開発目標の実現 ○GX（グリーントランスフォーメーション）の推進 ○不登校、いじめ、引きこもり、貧困、虐待、ヤングケアラーなど、子ども・若者をめぐる問題の多様化、複雑化 ○インクルーシブ教育の推進 ○多様性の尊重 ○コロナ禍を経たレジリエンス教育（困難・逆境を乗り越える力を養う教育） ○誰もががどこでも、いつでも学べる環境づくり ○人生 100 年時代に向けた学び続けられる環境づくり（リカレント教育・リスキリングの機会充実）	○【国】「 第4期教育振興基本計画 」（令和5～9年度） 2つのコンセプト ★持続可能な社会の創り手の育成 ★日本社会に根差したウェルビーイングの向上 5つの基本的な方針 ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進 ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話 <u>16 の目標</u> 1 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成 2 豊かな心の育成 3 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成 4 グローバル社会における人材育成 5 ノバーションを担う人材育成 6 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成 7 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂 8 生涯学び、活躍できる環境整備 9 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力の向上 10 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進 11 教育 DX の推進・デジタル人材の育成 12 指導体制・ICT 環境の整備、教育研究基盤の強化 13 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保 14 NPO・企業・地域団体等との連携・協働 15 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保 16 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ ○【国】「 こども基本法 」施行（令和5年4月） こども（子ども＋若者）に直接影響のある政策を策定する際は、子どもや若者の意見を聞くことが義務付けられる ○【国】 第 12 期中央教育審議会生涯学習分科会（令和 6 年 7 月） ～全世代の一人ひとりが主体的に学び続ける生涯学習とそれを支える社会教育の未来への展開；リカレント教育の推進と社会教育人材の養成・活躍のあり方～ ○【県】「 第7次福島県総合教育計画 」（令和4～12 年度） <u>福島県で育成したい人間像</u> 「急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」 <u>6 の施策</u> 施策1 「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する 施策2 「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大化する 施策3 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる 施策4 福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する 施策5 人生 100 年時代を見通した多様な学びの場をつくる 施策6 安心して学べる環境を整備する ○【県】「 教職員働き方改革アクションプラン（令和 6-10 年度） 」～みんなで変えよう！変えよう！子どもたちの未来のために～子どもたちと教職員の Well-being の実現「学びの変革」「学校の在り方の変革」	全般	■基本理念 「ともに学び、ともに育み、未来を拓く教育の創造」 ■施策展開上の必要な視点 ①SDGs ②こおりやま広域連携中枢都市圏 ③ICTの活用 ④セーフコミュニティ国際認証都市 ⑤ユニバーサルデザイン（UD）	【学校教育】【生涯学習】 ●一部、 <u>コロナ禍による事業中止等による目標未達</u> があったが、概ね目標を達成 ●英語教育、ICT 活用、特別支援教育、子どもの居場所や電子書籍など 社会やニーズの変化に対応 ●方針変更や事業廃止など、事業のスクラップ＆ビルドを柔軟に計画 ●オンライン開催や YouTube 配信など、コロナ禍による事業運営の見直し *施策ごとの評価：判定不可事業は除外。目標値に対して達成度 50%未満を「未達」と判定	● 学校教育 に対する取り組み全体についての満足度は、全体の 約4割が『満足』 、前回調査比 約 10 ポイント上昇 。保護者の理解が進む他方、一般市民に対して、 取り組みの周知不足 が推察される。 ● 生涯学習 に対する取り組み全体についての満足度は、全体の 2割強が『満足』 、前回調査比 約4ポイント上昇 。他方、わずかな改善はあるが、 取り組みの周知不足 が推察される。 ●重点施策では、一部施策において、ライフステージによる関心の違いがみられるが、社会の動向と連動した取り組みへの関心と希望が高い。	●児童生徒だけでなく、教職員のウェルビーイング（WB）の向上が不可欠 ●子どもの自律学習と自己効力感の向上 ●新たな時代（Society5.0）に求められる人材育成	◎郡山市に根差したウェルビーイング（WB）の向上 ◎一人一人に応じた学びの支援、居場所づくり ◎ICT を通じた学びの更なる深化 ◎教職員の多忙解消・業務の効率化 ◎幼保小中高大、研究機関、企業、近隣自治体等地域ぐるみの連携強化 ◎世代を超えた体験・経験の共有機会づくり ⇒重視すべき視点 ●SDGs ●こおりやま広域圏 ●ICT活用 ●セーフコミュニティ ●ユニバーサルデザイン ●ウェルビーイング
		基本目標1 個性を伸ばし生きる力を育む学校教育の推進	施策1 「確かな学力」の育成 施策2 「豊かな心と豊かな感性の育成 施策3 健やかな体づくり 施策4 特別支援教育の推進 施策5 教職員の資質向上	「英語教育の充実」「ICT 活用による新たな学びの推進」「道徳教育の充実」等、概ね目標値を達成、「個に応じた指導の充実」「支援体制の充実」はニーズが増加、教職員の多忙化解消等、「学校マネジメント力の強化」にも取り組む 施策1：概ね達成 施策2：概ね達成 施策3：概ね達成 施策4：特別支援教育派遣事業で未達 施策5：概ね達成	●学校教育で特に重点的に取り組んで欲しい施策：「 豊かな心と感性の育成 」「 確かな学力の育成 」 【施策ごとの重点希望】 ●施策1：「 英語教育の充実 」 ●施策2：「 道徳教育の充実 」 ●施策3：「体力向上のための学校教育の充実」 ●施策4：「個に応じた指導の充実」 ●施策5：「わかる・できる授業づくりの推進」 ●「学校給食」：「食品ロスや生産・流通に関する教育」	●中高生のグローバル教育に課題 ●内発的な動機づけによる、探求の継続が重要 ●個別最適化、認知特性に応じた指導、学習環境や教材が重要 ●先生が探究の担い手になる	
		基本目標2 家庭や地域と一体となった豊かな教育環境の形成	施策1 どの子も思う存分学べる環境づくり 施策2 地域に開かれた学校づくり 施策3 学校教育施設の整備 施策4 児童生徒の安全・安心の確保 施策5 時代に対応できる教育体制に向けて	「 地域をいかした教育環境の充実 」「 地域住民の学校運営への参画の推進 」等で概ね目標値を達成、「 いじめの未然防止 」「 通学路の安全点検 」でニーズが増加 施策1：スクールカウンセラー配置事業で未達 施策2：概ね達成 施策3：概ね達成 施策4：通学路の安全点検で未達 施策5：概ね達成	【施策ごとの重点希望】 ●施策1：「いじめの未然防止と早期発見・対応強化」 ●施策2：「地域をいかした教育環境の充実」 ●施策3：「校舎や屋内運動場等の整備」 ●施策4：「通学路の安全点検と対策の検討・実施」 ●施策5：「児童生徒と向き合える環境づくり」	●生徒の WB に保護者との関係が重要。家庭からのサポートが最大の課題 ●教職員のウェルビーイングの向上	
		基本目標3 未来へつながる教育機関の充実	施策1 幼児期における教育の質の向上 施策2 私立学校の充実 施策3 高等教育機関との連携	「 幼保小連携推進事業 」、「 私立学校への支援 」等概ね目標値を達成 施策1：概ね達成 施策2：概ね達成 施策3：概ね達成	【施策ごとの重点希望】 ●施策1：「幼児教育・保育施設の特性を踏まえた、小 学校への円滑な接続に向けた取組の推進」 ●施策2：「市立学校と私立学校の交流促進」 ●施策3：「専門的人材の活用」	●新たな時代（Society5.0）に求められる人材育成	
		基本目標4 家庭・地域・学校で取り組む子どもの育ちの支援	施策1 家庭教育の充実 施策2 幼児期の教育の質の向上と家庭の養育力の向上 施策3 青少年活動の支援 施策4 家庭・地域・学校等の連携 施策5 子どもの良好な育成環境の確保	「 地域のびのび子育て支援事業 」等高いニーズがあるものの、コロナにより目標未達、「 子どもの居場所支援活動 」で高いニーズ 施策1：地域のびのび子育て支援事業で未達 施策2：地域のびのび子育て支援事業で未達 施策3：概ね達成 施策4：地域のびのび子育て支援事業で未達 施策5：概ね達成	生涯学習で特に重点的に取り組んで欲しい施策：「 子どもの良好な育成環境の確保 」「 一人一人の学びの推進 」 【施策ごとの重点希望】 ●施策1：「家庭教育に関する機会や情報の提供」 ●施策2：「子育て家庭に対する相談体制の充実」 ●施策3：「次世代を担う人材育成」 ●施策4：「学校と地域が連携・協働する体制の充実」 ●施策5：「 安全・安心な居場所づくり 」	●幼少期（小学生）に体験活動に恵まれると自尊感情が高まる	
		基本目標5 生涯を通して学び、地域づくりにいかす環境の整備	施策1 一人一人の学びの推進 施策2 生涯学習活動の支援 施策3 文化・芸術・スポーツの振興 施策4 生涯学習の新たな展開 施策5 高等教育機関との連携	「 地区・地域公民館定期講座等開催事業 」等、コロナの影響があったものの、概ね目標値を達成、「 電子書籍導入事業 」で高いニーズ 施策1：施設適正化の検討（中央図書館）で未達 施策2：生涯学習支援事業で未達 施策3：概ね達成 施策4：概ね達成 施策5：概ね達成	【施策ごとの重点希望】 ●施策1：「 学びを支える人材の育成 」 ●施策2：「学習機会や情報の提供」 ●施策3：「生涯スポーツ・レクリエーションの推進」 ●施策4：「学びの成果をいかす環境づくり」 ●施策5：「大学や研究機関等との連携」	●好きなことをやっている（探究し続ける）人から刺激を受けることが大切	